

話題提供

「勉強会から始まる地域の輪 ～岩手県での取り組み～」

岩手県立療育センター相談支援部

岩手県発達障がい者支援センターウィズ

発達障がい支援係長 長葭康紀



岩手県の様子



- ・ 県庁所在地は盛岡市
- ・ 人口は約1,214,160人
- ・ 盛岡市の人口は285,859人
(2021年4月)
- ・ 盛岡市は盆地のため、夏の最高気温は35度を超え、冬の最低気温は-10度を下回る
- ・ 県民性はネットによると真面目、寡黙、保守的、我慢強い
- ・ 盛岡冷麺、盛岡じゃじゃ麺、わんこそばなど麺文化がある



そばっち

盛岡 T S

- メンバー 17 名 (2021. 09. 01 現在)

弁護士、保護更生施設、大学、地域生活定着支援センター、基幹相談支援事業所、障がい者110番相談室、グループホーム、障害者職業センター、発達障がい者支援センターなどに所属

- 今年度は会合で事例検討や実践報告を行いながら、フォローアップの実践を行っている

盛岡 T S の特徴

- もともとは研修会がきっかけで集まった（研修会の実行委員会として）
- 研修会後も何かしらのつながりは続けたいと思っていた
- 具体的に何をしようという目的、中心的な動きをする人はいなかった
- 仕事上のつながりはある人が多かった
- 本格始動のきっかけは K e e p S a f e

28年度の活動

- 「トラブルシューター養成講座in盛岡」開催（2017年3月10日）
主催：NPO法人Panda-J
共催：盛岡市手をつなぐ育成会
岩手県障害者地域生活支援事業連絡協議会
内容：講義（堀江まゆみ先生、山田啓太先生）
シンポジウム（県内支援者）

29年度の活動

- 2か月に1回程度会合を開き、どんなことをしたいのかを話し合った
障がい者110番相談室、盛岡市基幹相談支援事業所、
法テラス事務局、保護司、地域生活定着支援センター
発達障がい者支援センター
- 「トラブルシューターセミナー」開催（30年1月20日）
主催：盛岡TSセミナー実行委員会
盛岡市手をつなぐ育成会
内容：基調講演（水島俊彦氏）
パネルディスカッション（県内支援者）

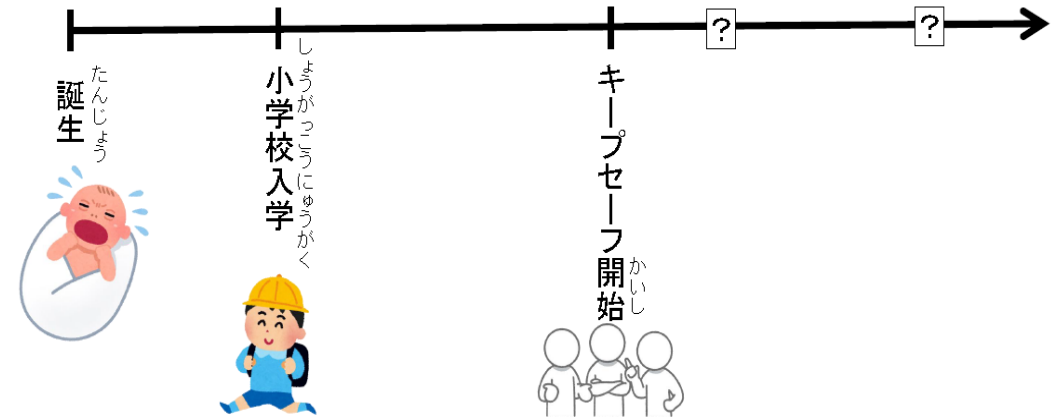
30年度の活動

- メンバーを増やし、3か月1回程度の会合を行う
- 事例検討会の実施に向けて話し合っていた
- 11月からKeepSafeについての話が出てきた
- 2月23日に基礎講習会を開始し、実践への協力者を募集

Keep Safeとは

- 当事者セッション38回、保護者セッション16回で行われるプログラム
- グッドライブスモデルを用い、自分の行った行動が「良いか、悪いか」を教えるのではなく、どのようにすれば自分の生活（人生）がより良いものになるのか考える

わたし じん せい ねん びょう
私の人生年表



Keep Safe

モジュール 1～6

モジュール1: プログラムについて、ルールづくり

モジュール2: 心と身体の成長の変化、関係性、境界

モジュール3: 自己の感情の理解・感情のコントロール

モジュール4: 自分の行動を理解する

モジュール5: 共感と結果の予測(その後何が起こるか)

モジュール6: 私のKeep Safe計画の作成前に進む準備

保護者向けセッション (モジュール7)



31年度（元年度）の活動

- 盛岡TSメンバーと協力してくれるメンバーでインストラクター研修を3日間実施
- 7月から実践開始（2週間に1回、土曜日）
- 会合はKeepSafeに関する内容が中心

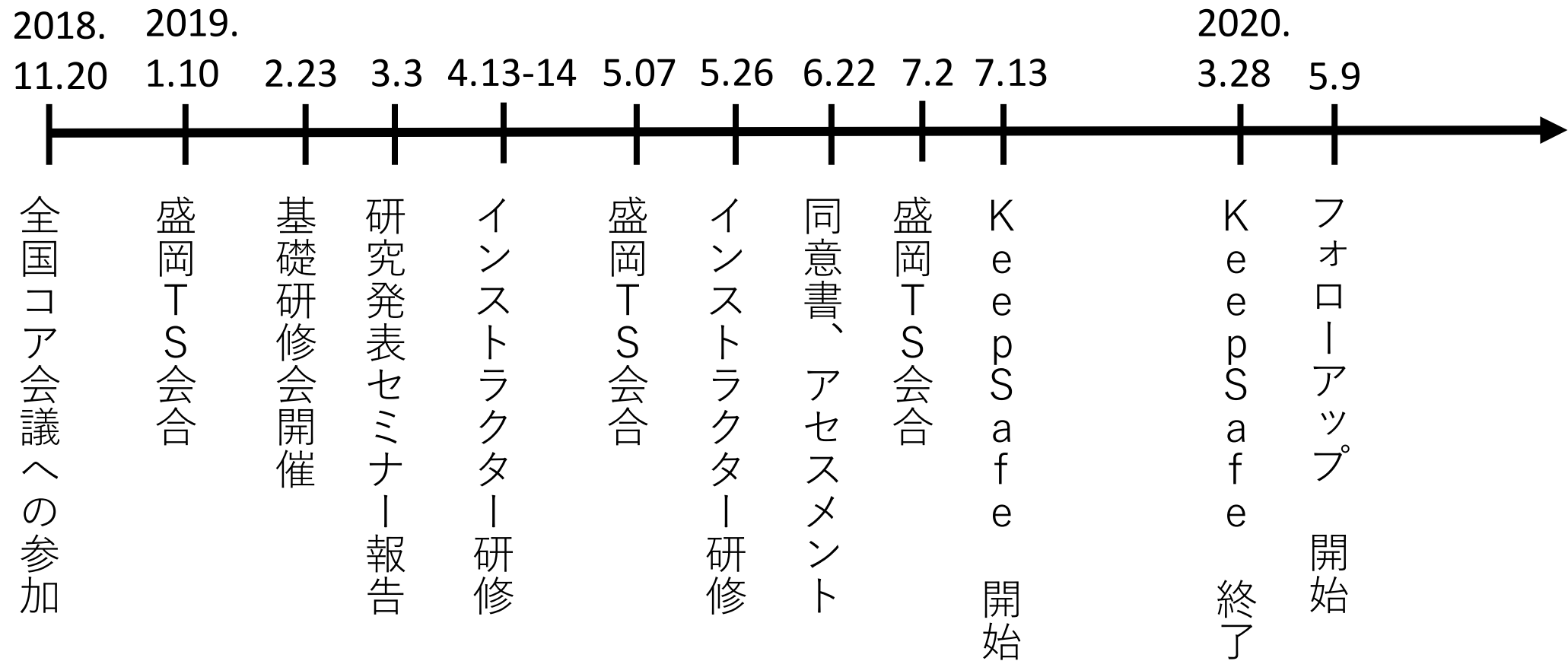
盛岡での実践＜概要＞

- 対象者は3名（15歳～20歳）
⇒盛岡TSの中で相談支援を行っている機関から1名ずつ
- 2週間に1回
(原則第2、4土曜日の10:00～12:00)
- 期間は2019.07～2020.03(全18回)
- 会場は盛岡市総合福祉センター(会場費無料)
- スタッフは各回5～8名程度参加

盛岡での実践＜特徴＞

- 核で動いているメンバーは発達障がい者支援センター
⇒全体の把握、日程調整、教材作成
主なメインファシリテーター
- コアメンバーは相談機関に所属
⇒地域生活定着支援センター、基幹相談支援センター

K S 実施に向けた タイムスケジュール



2年度の活動

- 実践に協力してくれたメンバーなどを加え、**10人から17人**に人数が増えた
- KeepSafe参加者へのフォローアップ
- キープセーフ短縮版の実施（全5回）

短縮版で行ったこと

- KeepSafeの実践をもとに、グッドライフモデル、グッドウェイモデルを行う
- 内容は性だけではなく、窃盗についても取り扱った
- 反省点としては5回では関係性ができたくらいで終わるので、6～8回あればよかった

3年度の活動

- メンバーは前年度と一緒に
- 会合では事例紹介や事例検討などを行う
- 元年度、2年度で行った実践のフォローアップを実施

フォローアップの様子

- 2021年8月に元年度のメンバにフォローアップの3回目を実施
- コロナの関係でほぼ1年ぶりのフォローアップとなった
- メンバーは再開を心待ちにしており、時々スタッフに確認していたよう
- お互いに仲間意識があるのか、近況の頑張りを褒めあったり、気づかいをする様子も
- 事業所では話せない、進路の話も出てきた
- 「次も必ずやってね」の言葉をいただき解散

盛岡 T S の歩みから

- 全国各地の T S は色々な経緯で発足している
- その中でも盛岡 T S は「あまりエネルギーが高くない」グループではないか
- 大きな困り感や、大きな目標からスタートしていないが、研修会で集ったメンバーが、「せっかくだから」もう少し勉強しようとして続けていた活動に、**KeepSafe**という大きな実践がきっかけで深まった集団である
- 少しずつ自分たちができる活動をやっていくスタイルもありかもしれない